

<b>授業科目</b> 精神保健学演習	<b>科目概要・形式</b> 2単位 60時間	<b>配当年次</b> 1年 後期
<b>科目責任者</b>	大山博史	
<b>担当者</b>	大山博史、坂下智恵、石田賢哉	
<b>1. 科目のねらい・目標</b> 精神保健に関する諸問題のリスクや介入等について、課題を明らかにし、その研究方法を検討する。エビデンス・ベースド・プラクティスの立場から関連文献や研究計画に対する考察を行う。		
<b>2. 授業計画・内容</b> 第1～3回 根拠に基づくメンタルヘルス 第4～6回 地域におけるメンタルヘルスの課題 第7～9回 職域におけるメンタルヘルスの課題 第10～12回 学校におけるメンタルヘルスの課題 第13～15回 老年期におけるメンタルヘルスの実際 第16～18回 壮年期におけるメンタルヘルスの実際 第19～21回 青年期におけるメンタルヘルスの実際 第22～24回 学童期におけるメンタルヘルスの実際 第25～27回 乳幼児期におけるメンタルヘルスの実際 第28～30回 トピック：自殺対策の基礎と実践		
<b>3. 教科書、参考書</b> 参考書 訳者 木原雅子他：「医学的研究のデザイン 第3版」、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2009年、ISBN 978-4-89592-583-9 C3047		
<b>4. 成績評価方法</b> 課題発表、出席状況により評価する。		
<b>5. 受講要件</b> 保健・医療・福祉領域における臨床経験がある者が望ましい。		
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b> 夜間開講科目		
<b>7. その他</b> 受講生の関心のあるテーマを取り上げて授業を進める。		